



平成27年3月2日

各 位

会 社 名 株式会社ジェーシー・コムサ
代表者名 代表取締役社長 和田 隆介
(コード番号 2876)
問合せ先 専務取締役CFO 今井 福三
(TEL 03-5722-7261)

第三者割当による新株式発行及び自己株式の処分に関するお知らせ

当社（以下、「JC COMSA」といいます。）は、平成27年3月2日開催の取締役会において、下記のとおりPT Indofood CBP Sukses Makmur Tbkに対して第三者割当による新株式発行及び自己株式の処分（以下、「本第三者割当増資」といいます。）を行うことについて決議いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 募集及び処分要領

(1) 払込期日及び処分期日	平成27年3月18日
(2) 株式数	新規発行 627,400 株 自己株式処分 272,600 株 計 900,000 株
(3) 発行価格及び処分価格	1株につき316円
(4) 資金調達額	284,400,000円
(5) 募集及び処分方法	第三者割当
(6) 募集又は割当・処分方法（割当・処分予定先）	PT Indofood CBP Sukses Makmur Tbk
(7) その他	上記各号については、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力発生を条件とします。

2. 募集・処分の目的及び理由

当社は「食を通して人と社会を豊かに」という経営理念の下で、国内を中核としつつグローバルな展開において事業領域の拡大と成長ポートフォリオの構築を目指しております。その一環として、平成26年3月27日に、今回の割当予定先であるPT Indofood CBP Sukses Makmur Tbkとともにインドネシア国内においてピザ並びにパスタを主体とする外食事業を展開する合弁会社であるPT Indofood Comsa Sukses Makmurを設立いたしました。そして、当該合弁会社を通して、急速に伸びつつある同国内での中間所得層のニーズに応えるため、既に3店舗の出店を

行い、さらに今年度に追加出店を行う予定であります。

一方、PT Indofood CBP Sukses Makmur Tbk はインドネシア証券取引所に上場しているPT Indofood Sukses Makmur Tbkの子会社であり、同社もまた、インドネシア証券取引所に上場しております。Indofood Sukses Makmur Tbkは、食品原料の生産及び加工から消費者への販売に至るまで、食品に係る幅広い事業を展開しています。PT Indofood CBP Sukses Makmur Tbkは、その傘下で消費者ブランド製品事業として、インスタント麺、乳製品、スナック食品、調味料、乳幼児食品、ノンアルコール飲料などを製造販売する優良企業であり、それぞれの分野で高い市場地位を確保しています。

そのような状況の中、今回の割当予定先であるPT Indofood CBP Sukses Makmur Tbkとの関係を強化し、より一層ASEAN諸国における事業拡大を画策する中、同社より、合弁会社であるPT Indofood Comsa Sukses Makmurを通じて既に築かれた協働関係をさらに強化するため、当社への出資の意向がありました。当社としても、同社の有するインドネシア国内における強固なネットワークを活用することにより、人口2億4千万人を有するインドネシアで今後ますます増加が見込まれる中間所得層の「食」に対する旺盛な需要に応えられると考えております。また、多面的な事業展開を柔軟に行い、競合他社よりも早期にインドネシア国内のマーケットでシェアを獲得するためには、両社の連携をより密に保つことが重要と考えております。また、同時に、本第三者割当増資により獲得した資金は、「3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期（2） 調達する資金の具体的な使途」に記載のインドネシアを中心とするASEAN諸国での外食事業展開費用及び国内外における生産体制の構築並びに増強費用にも充当することができるため、本第三者割当増資が当社の収益基盤の拡大ひいては企業価値の最大化に資するものと判断いたしました。

なお、当社は自己株式を保有していることから、募集株式900,000株のうち、272,600株を保有する自己株式の処分によることとし、残余の数を新株式として発行することといたしました。これは、保有する自己株式を有効活用するとともに、既存株主が保有する株式の希薄化に配慮したためです。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

- ① 払込金額の総額 284,400,000円
- ② 発行諸費用の概算額 6,000,000円
- ③ 差引手取概算額 278,400,000円

(注) 発行諸費用の概算額の内訳は、以下のとおりであります。

登記関連費用、弁護士報酬・アドバイザー費用等

(2) 調達する資金の具体的な使途

上記差引手取概算額につきましては、下記のとおり充当することを予定しております。

具体的な資金使途	金額	支出予定時期
当社の海外における外食事業展開費用	約100百万円	平成27年4月～平成28年3月末
当社の国内外における生産体制の構築並びに増強費用	約178百万円	平成27年4月～平成28年3月末

(注) 1 実際の支出までは、当社銀行預金口座にて適切に資金管理を行う予定であります。

2 「当社の海外における外食事業展開費用」は、本第三者割当増資による調達資金のうち約100百万円

をインドネシアを中心とするASEAN諸国域内における当社の外食事業での新規の出店費用等に充当する予定です。

- 3 「当社の国内外における生産体制の構築並びに増強費用」は、本第三者割当増資による調達資金のうち（注2）を除いた残額である約178百万円を国内外設備の増強資金に充当する予定です。これは、今後当社が今回の割当予定先であるPT Indofood CBP Sukses Makmur Tbkとの連携を含めて、グローバルな観点で競争力と収益を極大化するために、日本国内あるいはインドネシアを中心とするASEAN諸国において生産拠点を確保するための費用に振り向けることを想定しております。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

本第三者割当増資により調達した資金使途につきましては、業容拡大に伴う必要資金の一部に充当することを予定しており、将来的な収益の向上が見込まれるため合理性があるものと考えております。

5. 発行・処分条件等の合理性

（1）払込金額の算定根拠及びその具体的内容

発行価格については、本第三者割当増資に関する取締役会決議日の直前営業日（平成27年2月27日）までの直前1ヶ月間（平成27年1月28日から平成27年2月27日まで）の東京証券取引所（JASDAQ（スタンダード））が公表した当社普通株式の終値の単純平均値である316円としました。

発行価格の算定方法について直前1ヶ月間の終値平均値を採用した理由は、特定の一時点を基準にするよりも一定期間の平均株価という平準化された値を採用した方が、一時的な株価変動の影響など特殊要因を排除でき、客観性が高いと判断したためです。

なお、当該発行価格は、東京証券取引所（JASDAQ（スタンダード））における当該普通株式の、上記取締役会決議日の直前3ヶ月間の終値の単純平均値316円に対し0.0%のディスカウント、同6ヶ月間の終値の単純平均値323円に対し2.2%のディスカウント、そして直前営業日（平成27年2月27日）の終値338円と比較して6.5%のディスカウントとなっています。

上記発行価格は、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱に関する指針」にも準拠したものとなっており、特に有利な金額に該当しないものと判断しております。

（2）発行・処分数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当により割当予定先であるPT Indofood CBP Sukses Makmur Tbkに対して割り当てる当社普通株式の数量900,000株は、平成26年12月31日現在の当社普通株式の発行済株式総数8,477,890株に対して10.62%（議決権総数82,029個に対する割合は10.97%）に相当し、株式の希薄化が生じることになりますが、本第三者割当増資により、事業領域の拡大を前提に割当予定先であるPT Indofood CBP Sukses Makmur Tbkとの業務提携を図り、当社のコスト競争力の強化、財務基盤の強化を実現でき、当社の企業価値を向上させることができると判断しております。また、「6.（3）割当・処分予定先の保有方針」にも記載のとおり、割当予定先であるPT Indofood CBP Sukses Makmur Tbkからは割り当てる当社普通株式について長期保有の意向を確認しており、短期的には売却されないため急激な株価下落を引き起こさないと考えられることから、本第三者割当増資による発行数量及び株式の希薄化の規模は合理的であると判断しております。

6. 割当・処分予定先の選定理由等

(1) 割当・処分予定先の概要（平成27年3月2日現在）

①名称	PT Indofood CBP Sukses Makmur Tbk		
②本店の所在地	Sudirman Plaza Indofood Tower 23 rd Floor Jl. Jend. Sudirman Kav. 76 - 78 Jakarta Indonesia		
③代表者の役職及び氏名	President Director Anthoni Salim		
④事業の内容	インスタント麺、乳製品、スナック食品、調味料、栄養特別食、ノンアルコール飲料等の製造販売		
⑤資本金	583,095.4百万ルピア（約5,475百万円）		
⑥設立年月日	2009年9月にインドフード社から消費者製品事業を切り離して設立		
⑦発行済株式数	5,830,954,000 株		
⑧決算期	12月31日		
⑨従業員数	27,831名（2013年12月末現在、連結）		
⑩主要取引先	PT Indomarco Adi Primo 等		
⑪主要取引銀行	PT Bank Central Asia Tbk、PT Bank Mandiri (Persero) Tbk、株式会社三菱東京UFJ銀行		
⑫大株主及び持株比率	PT Indofood Sukses Makmur Tbk 80.53%		
⑬当事会社間の関係	資本関係	該当事項はございません。	
	人的関係	該当事項はございません。	
	取引関係	該当事項はございません。なお、割当予定先であるPT Indofood CBP Sukses Makmur Tbkと当社は平成26年3月に合弁会社であるPT Indofood Comsa Sukses Makmurを設立し、インドネシア国内においてピザ並びにパスタを主体とする外食事業を共同展開しております。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はございません。	
⑭最近3年間の経営成績及び財政状態			
決算期	平成23年12月期	平成24年12月期	平成25年12月期
連結純資産	10,700,776百万ルピア (100,480百万円)	11,984,361百万ルピア (112,532百万円)	13,265,731百万ルピア (124,564百万円)
連結総資産	15,354,878百万ルピア (144,181百万円)	17,819,884百万ルピア (167,328百万円)	21,267,470百万ルピア (199,700百万円)
1株当たり連結総資産（円）	2,633ルピア (24.7円)	3,056ルピア (28.7円)	3,647ルピア (34.2円)
1株当たり連結純資産（円）	1,835ルピア (17.23円)	2,055ルピア (19.30円)	2,275ルピア (21.36円)
連結売上高	19,367,155百万ルピア (181,856百万円)	21,716,913百万ルピア (203,920百万円)	25,094,681百万ルピア (235,637百万円)
連結営業利益	2,608,748百万ルピア (24,495百万円)	2,849,250百万ルピア (26,754百万円)	2,771,924百万ルピア (26,028百万円)
連結経常利益	2,744,910百万ルピア (25,775百万円)	3,034,394百万ルピア (28,493百万円)	2,966,990百万ルピア (27,860百万円)

連結当期純利益	2,066,365百万ルピア (19,403百万円)	2,282,371百万ルピア (21,431百万円)	2,235,040百万ルピア (20,987百万円)
1株当たり連結当期純利益 (円)	354ルピア (3.3円)	391ルピア (3.7円)	383ルピア (3.6円)
1株当たり配当金 (円)	116ルピア (1.1円)	169ルピア (1.6円)	186ルピア (1.7円)

(注)上記の通貨は1円=106.5ルピア (2015年2月12日現在) にて換算。

なお、割当予定先であるPT Indofood CBP Sukses Makmur Tbkに関しては、インドネシア証券取引所に上場しており、また、従来からの取引関係等により当社が認識している情報において、社会的信用力は十分であると考えております。また、当社は、同社より日本最大手の金融機関である株式会社三菱東京UFJ銀行と取引があることを示す銀行照会状の写しを入手することにより、同社が日本最大手の金融機関が要求する諸手続きを既に実施済みであると考え、同社及びその役員並びに主要株主であり親会社であるPT Indofood Sukses Makmur Tbkが、反社会的勢力等とは一切関係がないことを客観的にも確認しております。さらに、上記とは別に、割当予定先が反社会的勢力の影響を受けているか否かについて、当社から第三者の信用調査機関であるP. T. Indodata Global Semesta (Pusat Niaga Dutamas Fatmawati Blok B1/37 Jalan RS Fatmawati No 39 Jakarta 12150, Indonesia、代表者 Recky Oroh) に調査を依頼いたしました。その結果、割当予定先、当該割当予定先の役員並びに主要株主であり親会社であるPT Indofood Sukses Makmur Tbkについて反社会的勢力と関わりがあるという事実は確認できませんでした。

以上より、当社として、割当予定先であるPT Indofood CBP Sukses Makmur Tbk、当該割当予定先の役員並びに主要株主であり親会社であるPT Indofood Sukses Makmur Tbkが、暴力若しくは威力を用い、又は詐欺その他犯罪行為を行うことにより経済的利益を享受しようとする個人、法人その他の団体（以下、「特定団体等」といいます。）ではなく、特定団体等とは一切関係していないと判断しております。なお、当社は、その旨の確認書を株式会社東京証券取引所に提出しております。

(2) 割当・処分予定先を選定した理由

第三者割当による新株式発行及び自己株式処分につきましては、「2. 募集・処分の目的及び理由」に記載の通り、当社と割当予定先であるPT Indofood CBP Sukses Makmur Tbkが、インドネシア国内並びにASEAN諸国において、既に築かれた協働関係をより一層強化する方向で両社が共に取り組むことを趣旨として行うためであります。

(3) 割当・処分予定先の保有方針

当社は、割当予定先であるPT Indofood CBP Sukses Makmur Tbkから、同社に割り当てる当社普通株式について、本第三者割当増資の連携強化の趣旨に鑑み、現時点では長期保有する意向であることを割当予定先実務担当者より口頭で確認しております。なお、当社は割当予定先であるPT Indofood CBP Sukses Makmur Tbkから、割当予定先であるPT Indofood CBP Sukses Makmur Tbkが割当株式について払込期日より2年以内に全部又は一部を譲渡した場合には、譲渡を受けた者の氏名及び譲渡株式数等の内容を直ちに当社へ書面により報告すること、当社が当該報告内容を東京証券取引所に報告すること並びに当該報告内容が公衆縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定であります。

(4) 割当・処分予定先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

割当予定先であるPT Indofood CBP Sukses Makmur Tbkからは、自己資金の充当により本第三者割当増資にかかる払込みを行う旨の報告を得ております。また、割当予定先であるPT Indofood CBP Sukses Makmur Tbkについては、Semi-Annual Financial Statement（2014年12月期中間期）に記載されている売上高、総資産、純資産、現金及び預金等の状況を確認した結果、本第三者割当増資に係る払込に必要かつ十分な現預金を保有しているものと判断しております。

7. 募集・処分後の大株主及び持株比率

氏名又は名称	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（募集・処分前）	発行済株式総数に対する所有株式数の割合（募集・処分後）
大河原愛子	29.35%	27.33%
大河原毅	19.87%	18.50%
PT Indofood CBP Sukses Makmur Tbk	—	9.88%
長野健一	3.19%	2.97%
株式会社ニチレイフーズ	3.01%	2.80%
株式会社三菱東京UFJ銀行	2.54%	2.36%
株式会社商工組合中央金庫	2.36%	2.20%
日清製粉株式会社	2.12%	1.98%
株式会社味泉	1.77%	1.65%
倉林克巳	1.76%	1.64%
ジェーシー・コムサ従業員持株会	1.67%	1.55%
計	67.62%	72.85%

(注) 1. 平成26年12月31日時点の株主名簿を基準とし、持株比率は発行済株式総数に対する比率を記載しております。

2. 上記の割合は小数点以下第3位を四捨五入して算出しております。

8. 今後の見通し

本第三者割当増資が、当社の今期の連結業績に与える影響は軽微と見込んでおります。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本第三者割当増資は、希釈率が25%未満であることから東京証券取引所が定める有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手及び株主の意見確認手続きは要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績

(単位：百万円)

決算期	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
連結売上高	15,999	16,309	16,987
連結営業利益	791	821	807
連結経常利益	726	801	811
連結当期純利益	415	184	399
1株当たり連結当期純利益（円）	50.81	22.44	48.62

1株当たり配当金（円）	8.00	10.00	10.00
1株当たり連結純資産（円）	356.21	371.99	410.70

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況

(平成26年12月31日現在)

種類	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	8,477,890株	100.00%
潜在株式数	—	—

(3) 最近の株価の状況

①最近3年間の状況

	平成24年3月期	平成25年3月期	平成26年3月期
始値	165円	189円	360円
高値	195円	388円	432円
安値	141円	141円	260円
終値	190円	358円	303円

②最近6ヶ月間の状況

	9月	10月	11月	12月	1月	2月
始値	314円	355円	318円	309円	322円	304円
高値	364円	355円	318円	340円	329円	338円
安値	310円	330円	290円	301円	306円	303円
終値	360円	334円	307円	323円	306円	338円

③発行決議日前営業日における株価

	平成27年2月27日
始値	336円
高値	338円
安値	335円
終値	338円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はありません。

1 1. 発行・処分要領

(1) 株式の種類及び数 発行株式 627,400株

処分株式 272,600株

合計 900,000株

(2) 払込金額 1株につき316円

(3) 払込金額の総額 284,400,000円

(4) 増加する資本金及び資本準備金の総額 資本金 99,129,200円

資本準備金 99,129,200円

(5) 募集又は割当方法 第三者割当の方法によりPT Indofood CBP Sukses Makmur Tbkに全株式を割当てる。

(6) 払込期日 平成27年3月18日

(7) その他 上記各号については、金融商品取引法に基づく有価証券届出書の効力発生を条件とする。

以上